

## Jターン

岩手県→東京都→むつ市

室館 七恵さん  
relax salon natully  
(エステサロン)  
2021年3月創業



Case  
08

## 「誰かのために」という 思いがあれば伝わる。

結婚を機にむつ市へ移住した室館さん。3人の子育てをしながら、東京のエステサロンで磨いた腕を活かし自宅創業。SNSや口コミでファンを増やしている。

### エステサロンを開業

むつ市の自宅でエステサロンの営む室館七恵さん。専門学校の食物栄養科を卒業し、栄養士として食事指導を行いながら美容の道へと転身した。東京・銀座の大手エステサロンで経験を積み、2013年、結婚を機にむつ市に移住。むつ市でもリラクゼーションサロンに勤めた。室館さんが創業を考えるようになったのは、創業した女性たちの講演やオンラインセミナーに参加するようになってからという。

「以前は自分に自信が持てませ

んでした。そんな自分でも創業することができたのだから、気持ちとやる気次第で誰でもできます」

当初、親族から理解を得ることに苦勞し、女性向けサービスだから夫の協力も難しいところがあった。2人の子育てをしながら自宅で創業することには不安も大きかったが、創業をサポートしてくれるインキュベーション・マネージャー(IM)とのつながりを持ってたことで、創業の準備が楽になったと振り返る。

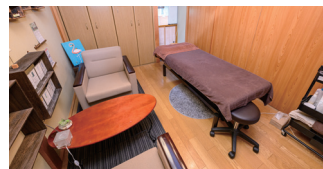
2020年12月、勤めていたリラクゼーションサロンを退職し、夫と2人で自宅の一部をDIYで改

装。念願の自宅エステサロンは形になる。「自然体で美しく」また、自分自身もそうでありたいと思いを込めて、店名を「natully(ナチュリー)」と名付けた。

### 集客はSNSを活用

サロンのある自宅は、市街地でありながら通りから一本入った静かな環境。駐車場も確保できて立地としては好条件だった。宣伝活動はどのように行ったのか。

「力を入れたのはSNS。ホームページも用意したが、9割はInstagram。私の顧客は20代か



自宅の一室を夫婦2人で改装したエステサロン。2023年には第三子を出産。ギリギリまで働き、産後も家に赤ちゃんがいないながら仕事ができる環境となり、子育てと両立することができた

ら40代の女性で、ちょうどInstagramのメインユーザー層と同じなので」

オープン予定日の2カ月前からアカウントを作り、Instagramを1日1回は投稿すると決めた。目立つ派手な画像より、自分が理想とする店のイメージが伝わるように、落ち着いた雰囲気の写真を投稿を心がけた。

「Instagramは効果がありました。むつ市では女性向けの美容情報が手に入りやすく、皆情報を求めているのだと思います」

誰かのためにという思いがあれば伝わる、と室館さん。



Information

relax salon natully  
<https://natully.info/>



### 創業を可能にした気持ち



### 街を元気にしたい

創業を果たし、経営者として羽ばたきはじめて室館さん。今度は地域を元気にしたいと活発に動きまわっている。「創業しよう」と考えるようになった自身の経験を多くの人にも感じてほしいと有識者の講演会を主催したり、室館さん自らが創業の実体験を話したりする機会を持つようになった。

「私が創業した際、先輩たちの話を聞いたことがたいへん役に立ったので、同じことを伝えていきたい。街が元気になれば人も元気になれる。私というより『誰かのために』という思いは必ず伝わります」

くわしくは動画をチェック!!

### 室館さんの創業まで

2013年6月▶  
結婚しむつ市へ

2020年10月▶  
来さまい館の創業講座に参加

12月▶  
退職

2021年1月▶  
SNSで情報発信

3月▶サロン創業

### 支援機関 担当からの一言

室館さんはむつ市創業相談ルームの活用以前から、むつ市主催「下北創業塾」に参加して一定の創業知識を習得していました。ルームでは速やかに事業計画の仮説検証を行うことができ円滑な資金調達実現となりました。第三者からの客観評価に基づく改善行動(実は大人には難しい行動です)に充てられたのが室館さんの強みと感じています。